

「季節労働者の「特例一時金」現行維持及び通年雇用の促進に関する意見書」の提出を求める陳情

積雪寒冷という北海道特有の気象条件により、冬期に失業を余儀なくされる季節労働者の、雇用安定、通年雇用化促進のための対策を進めているが、行政改革の一環として、雇用保険制度の見直しが論議されており、特例一時金は循環的給付を理由に廃止等が検討されている。

特例一時金の廃止等は、多くの季節労働者の生活を不安にするばかりでなく、地域経済への大きな影響が懸念される。

国は新規施策として通年雇用促進支援事業（仮称）の実施を予定しているが、季節労働者の冬期失業の実態を踏まえると、新たな冬期雇用の拡充、通年雇用を促進させる事業として、北海道、市町村、地域の努力はもちろん、国の責任による事業成功が不可欠である。

季節労働者の特例一時金の存続、現行制度の維持、新たな冬期雇用の確保の実現を要望する。【採択】

提出者＝連合北海道幕別地区連合

「出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書」の提出を求める陳情

消費者金融等の貸金業者は、貸金業規制法43条の要件遵守を条件に利息制限法の定める制限金利を超える出資法の上限金利での超高金利での営業をしている。最高裁判所は、貸金業者の貸付にみなし弁財は適用しないと判示したが、貸金業者は、利息制限法に定める所定金利に定められないばかりか、法を知らない債務者に何ら説明をせず、本来無効の利息を違法に受け続けている。

全国では債務整理を必要とする多重債務者の自己破産、夜逃げ、自殺等の社会問題や、税金や社会保険料等の滞納が常態化している。

出資法の上限金利の見直す時期を迎え、住民が安心して経済生活を送れる適正な金利規制等の法改正を行うよう要望する。

【採択】

提出者＝連合北海道幕別地区連合

雇用保険の特例一時金の廃止・改悪に反対し国の季節労働者対策の強化を求める陳情

北海道は積雪・寒冷という自然条件により季節的に失業を余儀なくされる労働者がおり、建設業を中心に従事している。

国の季節労働者冬期援護制度は、季節労働者の冬期間の雇用と生活を支える「命綱」として重要な役割を果たしてきたが、2006年度をもって廃止される。

国においては、特例一時金の廃止、見直しが論議されており、特例一時金が廃止されれば、季節労働者の失業中の生活保障が奪われ、深刻な事態が予想される。

通年雇用化もある程度進んできたが、相当数の労働者が季節的に失業せざるをえない現状がある。

北海道は長期にわたる不況と景気回復の遅れなど、雇用情勢は依然として深刻である。

国は、通年雇用促進事業（仮称）の実施を予定しているが、国としてより積極的な支援が求められている。

特例一時金の存続や国の季節労働者対策の強化を要望する。

【みなし採択】

提出者＝幕別町季節労働者協議会

安全・安心の医療と看護・介護の実現のために「医師看護師等の大幅増員を求める意見書」の提出を求める陳情書

医療事故をなくし、安全でゆきとどいた医療と看護を実現するには、医療従事者がゆとりと誇りを持って働き続けられる職場環境づくりが不可欠であるが、医療現場の実態は過酷になっており、医師や看護師等の不足が深刻化している。

北海道では、医師の確保が困難なため、診療科の縮小や病棟を閉鎖する病院が後を絶たない。また病院自体を閉院してしまうケースも生まれており、道内の地域医療の崩壊が危惧される。

欧米諸国に比べ日本は圧倒的に人員体制が少なく、患者の重症化、医療・看護の高度化に加え、入院日数の短縮や業務のIT化などにより業務は過密の度を増しており、人員増は緊急の課題である。

医療現場での大幅増員を保障する医師・看護職員等の確保対策を抜本的に強化するよう要望する。【採択】

提出者＝十勝勤医協「幕別町」友の会

※ 採択となった請願・陳情は、幕別町議会として意見書を関係機関に提出しています。意見書・陳情書は要約してあります。



問い合わせは、幕別町議会事務局まで（電話 0155-5416626）

写真を募集しています。
町議会史編さん特別委員会（杉坂達男委員長）では、旧忠類村の議会史「議会のあゆみ（仮称）」の編さん作業を進めておりますが、分村（昭和24年）から昭和50年頃までの写真が不足しており、ご家庭にある当時の写真で「議会や村の動き」に関する写真がありましたら借用させていただきます。お問い合わせいたします。